

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		コミュニティ運営事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	3	教育の健幸		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	渡辺 良輔
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	衛藤 剛
	業務分野	36	生涯学習団体の育成		所属班	生涯学習班	(内線)	1505
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10815	法令根拠	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	各コミュニティ運営委員会への補助金の交付、各コミュニティ指導員の任用、配置、報酬支払を行う。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	各コミュニティ運営委員会においては、市民センターを活用した講座の運営と学習発表の開催、子ども体験教室の実施、夏祭りやどんどや等地域イベントを開催している。 現在のコミュニティ 中央コミュニティ(木原野、大池、御代志、若原、南原住宅、芝原、ユトリック団地、東大池) 合生コミュニティ(立割、生坪、弘生、江良、高木、小合志、辻久保、小池、合生住宅) 黒石コミュニティ(黒石、新開、黒石団地、九州沖縄農研、再春荘、恵楓園、東須屋、陽光台、みずき台) 須屋コミュニティ(須屋、上須屋、堀川、榎ノ本、西須屋団地、県営住宅、南陽、南須屋) 野々島コミュニティ(北、本村、辻、東、湯之端、外園、中尾、城、上生、黒松、灰塚、くめぎヶ丘団地) 栄コミュニティ(平島、鹿水、中林、後川辺、栄温泉団地、新栄温泉団地、山下団地、栄住宅)
【業務の流れ】	①補助金交付(交付申請書受理⇒交付決定⇒概算払い申請受理⇒補助金交付⇒実績報告受理⇒精算処理) ②コミュニティ指導員任用、配置、報酬支払
【主な予算費目】	報酬、時間外手当、負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

【目的】市民センターを核とした生涯学習の推進と地域づくり
【内容】①各コミュニティ運営委員会(中央・黒石・野々島・合生・須屋・栄)へ補助金交付 ②コミュニティ指導員の配置、指導員はコミュニティ活動の企画立案、各講座の指導を行った。
【実績】中央コミュニティ運営委員会、黒石コミュニティ運営委員会、野々島コミュニティ運営委員会、合生地区地域づくり運営委員会、須屋コミュニティ運営委員会、栄コミュニティ運営委員会へ地区公民館等活動助成金を交付した。会計年度任用職員としてコミュニティ指導員を6つの市民センター配置した。
【成果】地域住民(コミュニティ運営委員会)と連携し、各市民センターにおける講座の運営やイベントの開催を通じ、市民センターを核とした地域づくりと生涯学習を推進することができた。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

①各コミュニティ運営委員会(中央・黒石・野々島・合生・須屋・栄)へ補助金交付
②コミュニティ指導員の配置、指導員はコミュニティ活動の企画立案、各講座の指導を行う。

③予算の主な増減の理由

会計年度任用職員報酬額改定による報酬・期末勤勉手当の増

成果指標

生涯学習を行っている人の割合

{単位}

%

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
生涯学習	%	40.2	45	45	42.3	45	45	45	0
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	12,293	13,391	15,347	16,730	12,513	12,513	12,513
(A) 事業費計	千円	12,293	13,391	15,347	16,730	12,513	12,513	12,513	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

コミュニティの活動が計画通り行われ、地域住民の生涯学習の推進につながった。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)